

平成27年度第2回工学分野連携グループの合同委員会議事録
学系別FD/ICT活用研究委員会（機械工学、建築学、経営工学）
サイバー・キャンパス・コンソーシアム運営委員会（電気通信工学、土木工学）

- I. 日時：平成27年11月10日（火） 18:00～20:00
II. 会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）4階飛鳥
III. 出席者：機械工学 角田担当理事、田辺委員長、田中委員、高野委員、
建築学 衣袋委員長、澤田委員、大内委員、松岡委員、関口アドバイザー
経営工学 井上委員、水野委員、後藤委員、佐々木委員、小池委員
電気通信工学 新津委員、小林委員、岳委員
土木工学 武田委員
（事務局）井端事務局長、野本

IV. 議題概要

工学分野合同の対話集会を12月20日に法政大学（市ヶ谷田町校舎）で行うため、開催要項の案が提示された。開催の目的、対話集会のねらい、事前準備について、プログラム等について順に説明がされた。開催要項の内容や進行等について以下のような意見があった。

- ・ 話題提供は、3件の候補が提示され確認がされたが、それぞれの持ち時間について十分に説明いただき理解を図る必要があるとの意見から、質疑入れて30分以内の持ち時間として話題提供部分を90分に設定することにした。
- ・ 開催の目的部分で、「自ら問題を発見し、答えを見出し実践できる力」のところについて、問題に対して解答は一つで課題に解決策は複数ある、問題に対して答えは一つではないなどの認識があり、「答え」の記述を「解」とすることにした。
- ・ 話題提供の次に意見交換を行うが、話題提供に影響されないように区切りをつける意味で10分程度の休憩を入れてはどうか。
- ・ 意見交換は、「アクティブ・ラーニング」と「教学マネジメント」2つのテーマでバランス良く話題が議論できる配慮が必要である。
- ・ 話題提供から開始するのではなく、なぜ対話集会を行うのかなどの一言が必要ではないかの意見から、冒頭に開催趣旨説明を5分程度で設定することにした。（対応：角田担当理事）
- ・ 最後の課題整理とまとめは、5分程度とし、テーマについて何の議論ができて、何の議論ができなかったのか、どのような意見があったか、意見が集中したこと、意見が分散したことなど整理して次年度につなげることにしてはどうか。（担当：田辺委員長）
- ・ 全体の司会進行役を1名設定した。（担当：関口アドバイザー）
- ・ 意見交換の内容について、評価方法ではどのように行っているか、客観的な試験を行っているか、ルーブリックを作成・利用しているかなどの意見があがることを想定している。また、組織的な取り組みのメリットや効果が議論され自大学へ持ち帰り来年度の検討にあげられれば良いと思われる。
- ・ アクティブ・ラーニングの工夫については、工夫している点、得意なものなどの意見を受け絞ってはどうか。評価も苦勞している経験を受けてはどうか。

- 教学マネジメントについては、教員連携や分野横断に比重をおいて議論してはどうか。学生にとって横断的に広がれば自ら問題を発見する土壌が増えることにつながる。
- 意見交換の進行は、前半後半に分けてそれぞれ総括することではどうか。割合を2：1にして、「アクティブ・ラーニング」50分、「教学マネジメント」25分でどうか。それぞれ議論の後に整理してみますととして議論をまとめることにしてはどうか。（担当：「アクティブ・ラーニング」司会 井上委員、助言者 高野委員、「教学マネジメント」司会 田中委員、助言者 衣袋委員長）
- 開催要項の表記について、「事前準備について」の案内は、参加にあたり事前準備が必須の固い印象があることから、参考資料の表記に変更し、掲載順を後にまわすことにした。「資料について」の案内は、情報提供資料持参のお願いだったが当日配布を予定するため削除することにした。意見交換テーマでモノ、コトの記述はもの、ことに修正することにした。

V. 今後の予定

工学分野連携グループのアクティブ・ラーニング対話集会を12月20日(日)に法政大学（市ヶ谷田町校舎）で開催することになっている。